

令和6年度 国際教養科 前期選抜 実技検査の出題趣旨及び評価の観点

長野県上田染谷丘高等学校

出題趣旨

実技検査1では、会話文問題及びグラフ読み取り問題の2題を出題した。問1は文脈を正しく理解し会話に即して発話を組み立てる力を測る目的で出題した。問2は英文と示されたグラフを適切に結びつけて内容を理解する力、英語及び日本語で表現する力を測る目的で出題した。実技検査2では英語による面接試験を実施した。音読はまとまりのある英文の内容を理解しながら適切に音読できる力を図る目的で出題した。英問英答は質問を的確に聞き取り、適切に応答する力、身近な事柄について自分の考えを英語で発信する力を測る目的で出題した。

実技検査1は全受検生に対し同時実施、実技検査2は個別実施とし、受検生が落ち着いて十分に力を発揮できるように配慮した。なお、実技検査2は入室から退室まですべて英語で指示をした。

評価の観点

実技検査1（筆記）

問1

会話の流れに沿って発信に繋がる基本的な表現を組み立てられるかどうか、適切な発話を英語で表現できるかどうか、場面、登場人物の言動を正確に把握できるかどうかを評価の観点とした。

問2

英文とグラフを対照して英文を具体的に理解できるかどうか、本文中の問いに対する自分の意見を適切な英語で書けるかどうかを評価の観点とした。

実技検査2（口頭）

音読

単語の発音及びアクセント、ポーズの入れ方、イントネーションの適切さを評価の観点とした。

英問英答

- 1 必要な情報を英文から読み取り適切に応答ができるかどうかを評価の観点とした。
- 2 質問を的確に聞き取り、自分の考えを積極的に適切な英語で述べる力と態度があるかどうかを評価の観点とした。